

# いこいコミュニティ

第70号

令和 5年 4月  
発行：依田窪老人保健施設  
広報編集委員会  
〒386-0603  
小県郡長和町古町 3365-5  
TEL : 0268-68-0281  
FAX : 0268-68-0283

## 介護老人保健施設「いこい」 とはどんな施設ですか？

依田窪老人保健施設「いこい」では、  
介護老人保健施設の使命として在宅復帰、  
在宅療養支援に力を入れ取り組んでいます。

地域に根ざした施設として介護が必要な  
状況になっても「住み慣れた地域」「住  
み慣れた自宅で」可能な限り過ごしてい  
かれるよう職員一同日々努力をしています。

今までも広報紙で施設の機能や取り組  
みについてお話ししてきましたが、色々な  
施設があり、施設の機能が分からない方  
も多いと思います。

その中で「いこい」はどんな施設でど  
んな利用の仕方ができるのか地域の皆様  
に改めてお話していきたいと思っています。  
日頃、相談を受ける中で質問をいただ  
いた経験をもとにお伝えしていきます。

### 入所までの流れ



Q 介護老人保健施設とはどんな施設で  
すか？

A 医師による医学  
的管理のもとで、  
看護・介護ケア・  
リハビリテーション  
等を提供し、在  
宅復帰や在宅での  
療養支援をお手伝  
いする施設です。



Q どんな目的で利用できますか？

A 看護・介護が必要な方(要介護1〜5  
の認定を受けている方)で病院から  
退院後すぐ自宅で過ごすことが不安  
な方

・自宅へ戻るために住環境やサービ  
スを整えたい方  
・身体機能の維持・向上を目的とする方  
・施設での看取りを希望する方などです。

Q どんな場合に利用が難しいですか？  
A 定期的な外来治療が必要で病状が安  
定しない方、入院治療が必要な方は利  
用が難しいですが、まずご相談くださ  
い。

Q 利用するにはどうしたらいいです  
か？

A 入所の申込みが必要になります。  
連絡がなく直接来所された時には対  
応ができない場合がありますので、事  
前に相談員宛に連絡をお願いします。  
自宅にいる方は、ケアマネジャーを  
通じてのご相談、入院している方は、  
ソーシャルワーカーを通じてのご相談  
も可能です。

Q 入所期間は3か月ですか？

A まずは、3か  
月間集中的にリ  
ハビリを行って  
3か月をめどに  
評価を行います。  
ご家族の介護  
体制、ご本人の  
状況等踏まえ退所の可否、期間延長の  
必要性を評価します。在宅支援をする  
施設なのでずっと入所していただける施  
設ではありません。



Q 退所後再度入所することは可能です  
か？

A 本人の状況によって、再入所は可能  
です。  
それぞれの家庭で介護できる方が  
いるか、同居している家族はいるが仕  
事や病気など様々な事情により介護が

### 令和5年度予算概要

(単位: 千円)

歳入総額	573,974
施設サービス料収益	222,421
居宅サービス料収益	159,725
食費・居住費等収益	65,068
市町分担金	62,520
その他	64,240
歳出総額	573,974
給与費	375,253
材料費	35,734
経費	60,829
委託金	36,710
償還金	62,520
その他	2,928

3月20日、依田窪医療福祉事務組合議  
会3月定例会が開かれました。  
依田窪老人保健施設「いこい」の令和  
5年度特別会計予算案、令和4年度補正  
予算案が審議され可決されました。  
令和5年度予算は、前年度に比べ、  
千6百万6千円の増額予算となります。  
今年度は、老朽化した多目的ホールの  
エアコンの更新工事費も計上しました。  
令和2年度以降、赤字が続く厳しい運  
営状況ですが、職員一丸となり頑張っ  
てまいります。

### 令和5年度予算 5億7千397万4千円

難しいなどの事情を踏まえ、ご本人とご  
家族が一緒に過ごせる可能性や手段など  
を検討していきます。  
地域の皆様のお力になれるようスタッ  
フ一同取り組んでまいりたいと考えてい  
ます。

### いこい支援相談員

4月から、当施設の相談窓口として、  
村松・樋口が対応させていただきます。  
地域の皆様のご相談に丁寧に対応させ  
ていただきたいと思います。お気軽に  
気軽にご相談ください。

依田窪老人保健施設「いこい」には、医師、看護師、介護員、理学・作業療法士、管理栄養士、支援相談員と多職種が勤務しています。  
このコーナーでは、各職種からいろいろな情報を発信します。

## ○ よい充実した在宅生活を送れるように ○

理学療法士 竹鼻 麻希江



通所リハビリテーションセンターでは、ご利用者様に関わる多職種の職員により、目標をもってより充実した在宅生活が過ごせるように支援するための取組を行っています。

取組としては、通所リハビリ利用開始から6か月間は月に1度、それ以降は3か月に1度、ご利用者様(ご本人・ご家族)と多職種の職員による、リハビリテーション会議を開催しています。

通所リハビリ利用時の活動の様子やリハビリを行っている際の様子を動画にし、その方の身体機能や認知機能、現在できる動作、注意点や現在の問題点について説明をしています。

ご利用者様からは、ご自宅での様子、日常生活で困っている事、ご希望をお聞きしたうえで、達成したい目標を設定し、それぞれの立場で問題解決に向けた話し合いや目標に向かって取り組むべきことを共有・確認をしています。

医師も会議に参加していますので、薬や病気の事など、ご利用者様が不安に思われていることをより詳しく聞くことができる機会にもなっています。



具体的に生活状況や問題点が把握できるため、利用時の個別リハビリも、よりその方に合ったプログラム内容で行えます。

また、ご家族とも毎月お会いすることで信頼関係が築け、目標の実現にも繋げやすくなっていると感じています。

会議といっても、目標に向かって取り組むチームとして、堅苦しくせず、日々の生活の中で困っている事や、今後やりたいことなどをざっくばらんに話し合える場にしたいと思っています。

ご興味のある方は、通所リハビリの利用についてご相談いただきたいと思えます。



### ■ 人事異動

○ 3月31日付退職

作業療法士 山ノ内 敏行

○ 4月1日付異動

理学療法士 町田 哲也(病院↓老健)



いこいには、数年前に数か月だけ勤務していましたが、変わっているところもあるのですが、できるだけ早く慣れていきたいと思っています。

理学療法士 鈴木 友将(老健↓病院)

○ 4月1日付新規採用

介護員 宮坂 真由美



いこいでの勤務は10年振りです。フレッシュさは欠けてしまいましたが、その分の経験を活かして、利用者様一人ひとりに寄りそうケアをしていきます。

### ★ 編集後記 ★

長野地方気象台が定めている標本木のソメイヨシノが3月28日、開花しました。これは平年の開花日(4月11日)より14日早く、昨年の開花日(4月9日)より12日早い開花で、1953年の統計開始以来、開花の最も早い記録となりました。

今年は、コロナ禍4年目のお花見シーズンとなりましたが、各地のお花見スポットでは、感染対策の緩和により、大勢の花見客が訪れたようです。

(編集委員)